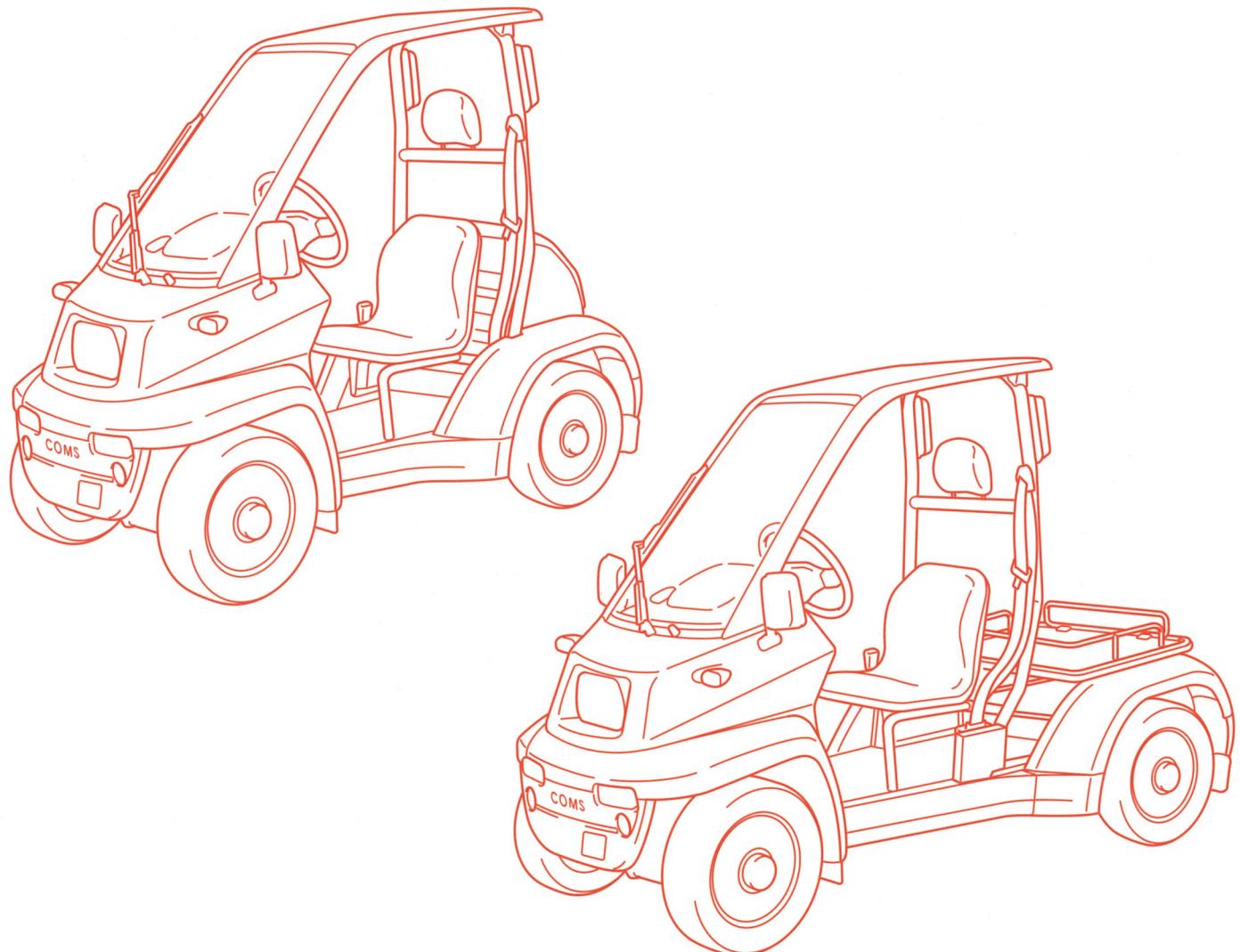


TOYOTA AUTO BODY  
**EV COMS**  
エブリテ・コムス／コムスロング”  
OWNER'S MANUAL

取扱説明書



ご使用の前に必ずお読みください。  
いつまでも大切に保管してください。

## はじめに

このたびはトヨタ車体株式会社（以下トヨタ車体といいます）のエブリディー・コムス（以下コムスといいます）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

この取扱書には、コムスをいつまでも安全・快適にお使いいただく為の正しい取扱い方法や、簡単な保守・点検および異常が生じた場合の対処方法について記載しております。

コムスには、電気自動車独自の取扱い方がありますからご使用前によくお読みいただき、手引きとしてお手元においてください。

◇コムスは、『普通自動車』の免許を持った人が1人で乗る電気自動車です。

◇コムスを貸したり、譲り渡す場合は、この取扱書を必ず添えてお渡しいただき、ご使用前に  
お読みいただくようお伝えください。

◇コムスの改造は、故障や重大な事故の原因となりますので、絶対にしないでください。

改造に起因する損害は保証の対象外となります。

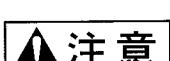
◇品質改良や仕様変更などにより、この取扱書の記載内容が、お手元の製品と一部異なること  
がございます。あらかじめご承知おきください。

◇保証書、メンテナンスノートはよくお読みになり、保証書の販売店名・捺印を確認された  
上、大切に保管してください。

◇よく分からぬことや、不都合がございましたら、早めにお買い上げいただいたコムス販売  
店、もしくは弊社へお気軽にご相談ください。

## 安全に関する表示

安全にお使いいただく為に、特に重要な事項ですのでしっかりとお読みください。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、コムスが損傷するなどの恐れがあります。

 危険	その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるもの。
 警告	その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負う恐れのあるもの。
 注意	その指示に従わなかった場合、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する恐れのあるもの。ただし、状況によっては重大な結果につながる場合がある。
 チェックポイント	操作・保守点検をするときの一般的な注意事項で、製品自体の損害を防ぐ注意事項も含む。
	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い、実施してください。

\*上記中の損害の程度の意味は、下記のとおりです。

**重 傷：** ケガ・火傷・感電・骨折等々で後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するもの。

**軽 傷：** 治療に入院や長期の通院を要さないもの。  
(上記重傷以外)

**物的損害：** 家屋・家財および家畜やペットなどにかかる損害。ただし、コムス自体のみの損害（自損）は含まれない。

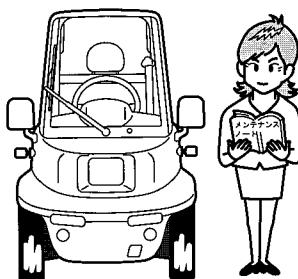
# もくじ

1. 必ず読みましょう	確認しましたか? .....	1
	危険です! .....	2
	走行する時は! .....	4
	長くお使い頂くためには! .....	5
2. 各部の名称	ベーシック外観図 .....	7
	運転者席付近配置図 .....	8
	スピードメーター周辺の表示 .....	8
3. 警告・使用方法ラベルの種類と貼付け位置	.....	9
4. 安全装置(シートベルト)	.....	10
5. 操作装置	(1) メーターの見方 .....	12
	(2) 表示灯・警告灯の見方 .....	13
	(3) 視界の確保 .....	14
	(4) 運転装置 .....	15
6. 運転操作	(1) 走行する前に .....	18
	(2) 走 行 .....	19
	(3) 停 車 .....	20
	(4) 駐 車 .....	21
7. バッテリー充電	(1) バッテリーについて .....	22
	(2) 充電のタイミング .....	23
	(3) 充電方法 .....	24
8. 寒冷時の取扱い	.....	26
9. メンテナンス	(1) 日常点検 .....	27
	(2) ボデーのお手入れ .....	28
	(3) その他の点検整備 .....	29
	(4) メンテナンスデータ .....	30
10. 万一の場合	(1) 警告機能 .....	32
	(2) けん引 .....	34
	(3) ジャッキアップ .....	35

# 1. 必ず読みましょう

## 確認しましたか？

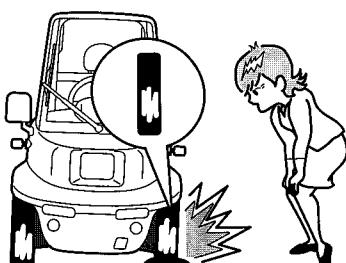
### ◇日常点検と走行前点検の実施



コムスを安全にお使い頂く為、日常点検と走行前点検は法律で義務付けられています。

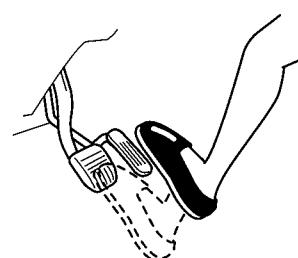
P.27またはメンテナンスノートをお読みになり、その指示に従ってください。

### ◇タイヤ空気圧の点検



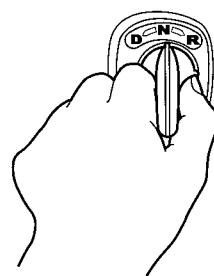
空気圧不足のまま走行すると、思わぬ事故につながる事がありますので、乗車する前に必ず点検してください。

### ◇ペダルの位置と操作



ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながりますので、走行前にペダルの位置を確かめ、アクセル・ブレーキペダルは右足で操作してください。

### ◇シフトスイッチの確認



キーをONにする時は「N」、前進する時は「D」、後進する時は「R」の位置にある事を確認してください。

操作時は常にブレーキを踏み、車両が停止している時に行ってください。

### ◇ブレーキの効きを確認



走行前にブレーキの効き具合を、低速で発進させて確かめてください。

慣れるまで無理な走行は避け、車間距離を十分とってご使用ください。

## 危険です！

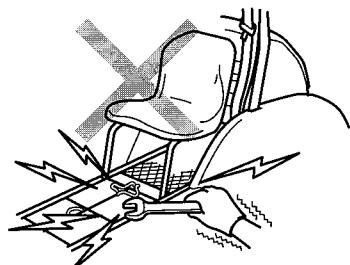
◇2人以上で乗車しない



この車両は1人乗りですので、運転者以外（子供を含む）は同乗させないでください。

道路交通法に違反することは勿論、運転者以外は体を固定する装置がないため走行中振り落とされる危険が考えられます。

◇高電圧部の点検整備



コムスはDC 72Vの電源で走行する車両です。

電気系統には、むやみに工具や素手で触れないでください。感電して大怪我、または生命に関わる重大な傷害を受ける恐れがあります。

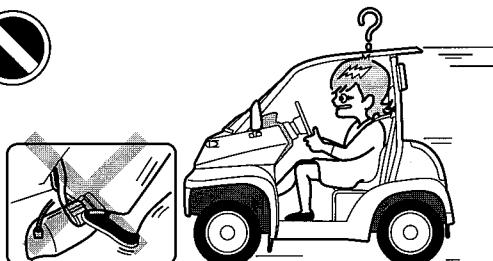
電気系統の点検整備はコムス販売店へご相談ください。

◇薬を飲んだ時



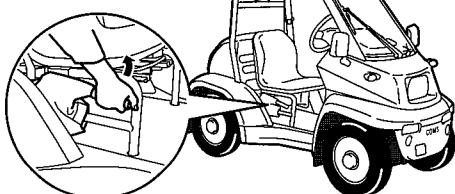
かぜ薬などの眠気を催すような薬を飲んだ後は、運転を避けてください。思わぬ事故を招きます。

◇運転席足元に物を置かない



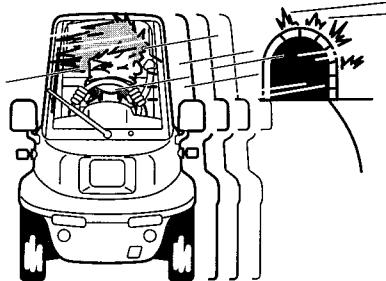
ブレーキペダルや、アクセルペダルに物が挟まるような事があると、ペダル操作ができなくなり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

◇駐車する時は



無人で車が動き出す等の思わぬ事故につながる事がありますので、パーキングブレーキは確実にかけてください。タイヤの輪止めも効果的です。

◇横風が強い時



横風を受け、車が横に流されるような時は、ハンドルをしっかりと握りスピードを徐々に落としてください。

トンネル出口、橋の上等の横風が強い所での走行は十分注意してください。

◇走行中、タイヤに異常



走行中にタイヤがパンク、バーストした時には、徐々にスピードを落として安全な場所に停車してください。

慌てて急ハンドル・急ブレーキを行うと車両がコントロールできなくなり危険です。

◇手足を車外へ出さない



走行中はむやみに手や足等を車外へ出さない様にしてください。

木の枝や、対向車両に接触して思いもよらない怪我をすることがあります。

◇衣服は体にフィットした物



走行中に衣服が、風等の理由で車外へ出ないものを着用してください。

木の枝や、対向車両に引っかかり思いもよらない怪我をすることがあります。また、長めのマフラー等が後輪に巻き込まれたりすると、重大な傷害を受ける恐れがあります。

◇高温部への接触禁止

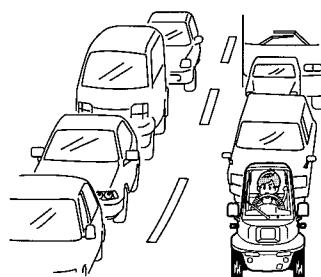


モーター等の高温になる部分には不用意に触れないでください。

コムスの機器には、走行や充電により温度が高くなる部分があり、接触することにより火傷をする恐れがあります。

## 走行する時は！

### ◇道路交通法を守って



コムスで公道を走行する時は、一般乗用車と同じように、交通ルールを守って安全運転に心掛けください。

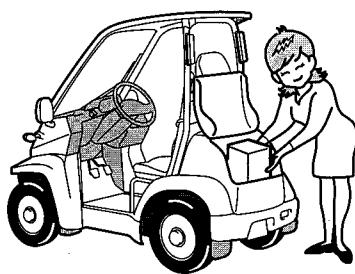
### ◇シートベルトを必ず着用



シートベルトは正しく着用しないと、効果が十分発揮できなくなり、重大な傷害を受ける恐れがあります。正しい着座姿勢で正しく着用してください。

シートベルト着用は義務づけられておりますので、シートベルト着用ご確認のうえ運転してください。

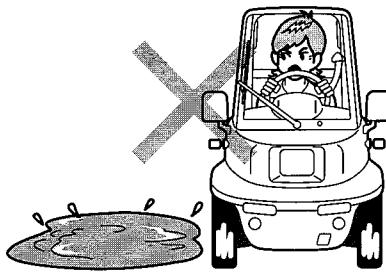
### ◇荷物は崩れて落ちない様に



手荷物は、オプションのボックス（またはパイプデッキ）の中へ、荷崩れしないように収納してください。

ボックス（またはパイプデッキ）等がない場合はロープフックを利用して荷物が崩れないようにロープで縛ってください。

### ◇雨天時は速度を落とす



雨等で路面が濡れると通常より滑りやすくなるので、速度は控えめに走行してください。また、冠水路等の深い水たまりの走行は避けてください。機器への水入り等による車両故障につながる恐れがあります。

### ◇転倒の危険にご注意ください



スピードが出過ぎた状態で急ハンドルや急ブレーキをすると、転倒やスリップの恐れがあり非常に危険です。

旋回する前に十分な減速（ブレーキング）をし確実に安全なスピードで安全なハンドル操作で走行してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

◇充電コードは外す



車両側に充電コードが接続されたまま走行するの  
は、ペダルを操作する際とても邪魔になります。  
充電終了後は直ぐにコードを家庭用電源・車両側  
の両コンセントから抜くようにしてください。

◇後退する時



サイドミラーだけでは確認できない死角がありま  
すので、車両に乗り込む前に人や障害物がない事  
を確認してください。

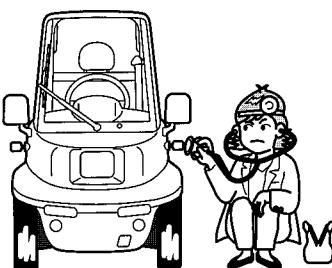
◇滑りやすい路面は慎重に



濡れた路面・凍結路・積雪路等では速度を落し、  
急加速・急ブレーキ・急ハンドルは避けてください。  
横滑り・転倒等の思わぬ事故につながる恐れ  
があります。

長くお使い頂くためには！

◇定期的な点検と整備



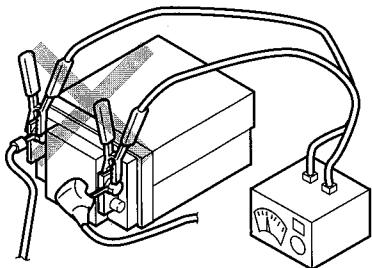
毎日の走行前に行う「日常点検」、6カ月毎に販  
売店が行う「定期点検」は欠かさずに実施してく  
ださい。点検を怠ると、故障や事故を招く恐れが  
あります。

◇違法改造はしない



車両の構造や機能に関する改造や、トヨタ車体  
が指定する付属品以外の取付けは、操縦性を悪化  
させたり、車の寿命を縮める事があります。  
違法改造は、法律に触れる事は勿論、他の人や車  
の迷惑になります。更に、改造による事故・損傷  
は保証対象外となります。

◇過充電・過放電はしない



バッテリーは、過充電・過放電(メイン:50V、補機:9V)をする事によって極端に寿命が短くなってしまう特性があります。

長期間使用せず放置したままだったり、付属の充電器以外で充電(急速充電)しないでください。充電は充電表示ランプが緑色に変わるまで行ってください。

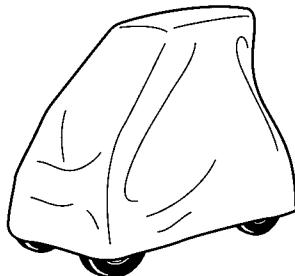
◇タイヤは指定の物を



タイヤ交換は四輪とも同時に行い、指定サイズで同一の銘柄、パターン(溝)のものを装着してください。

摩耗差が大きかったり、指定のタイヤサイズと異なると車両性能を損なう原因になります。

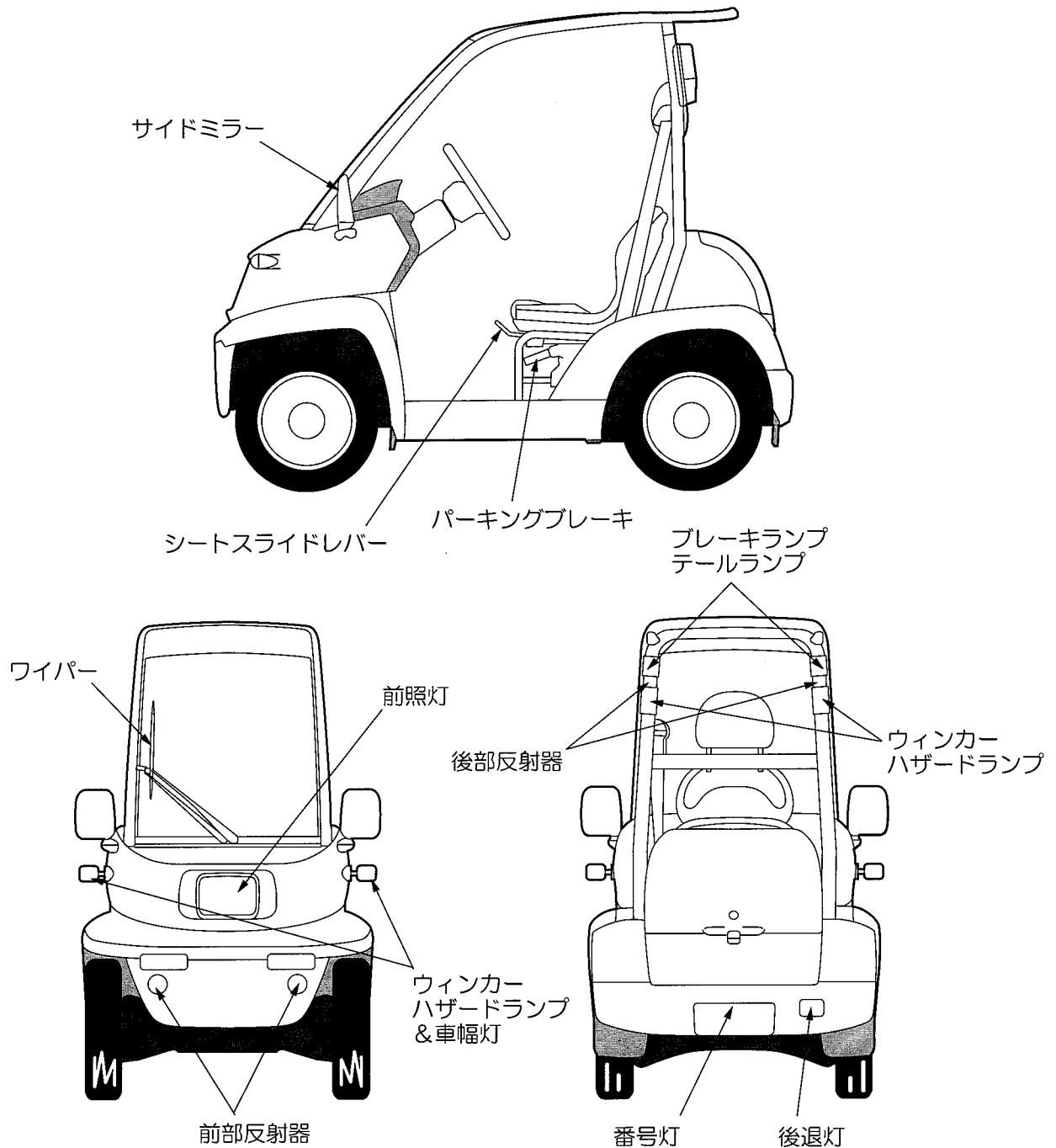
◇保管について



コムスに乗られない時は、ボデーの変形・変色・制御機器の故障からコムスを守るために、風雨やホコリ、直射日光を避けて保管してください。合せて、オプションのボデーカバーもご利用ください。

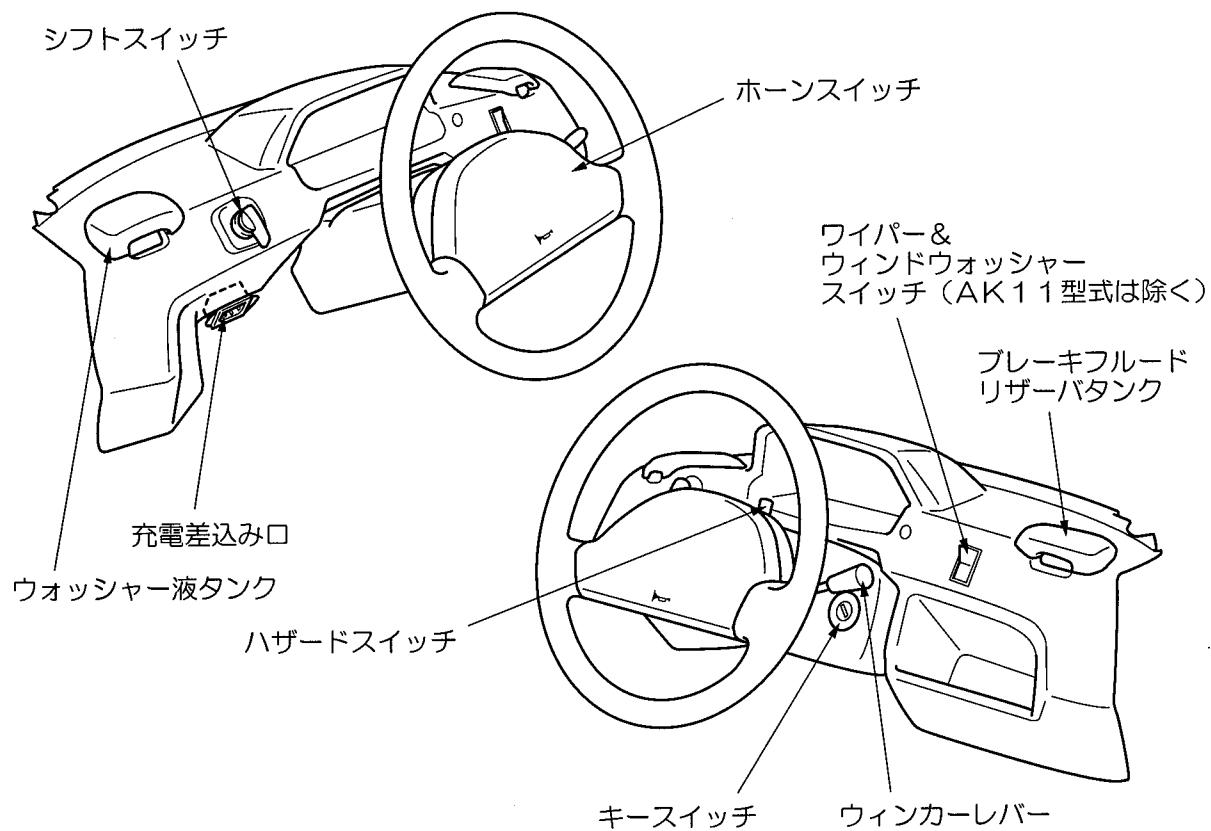
## 2. 各部の名称

[ベーシック外観図]

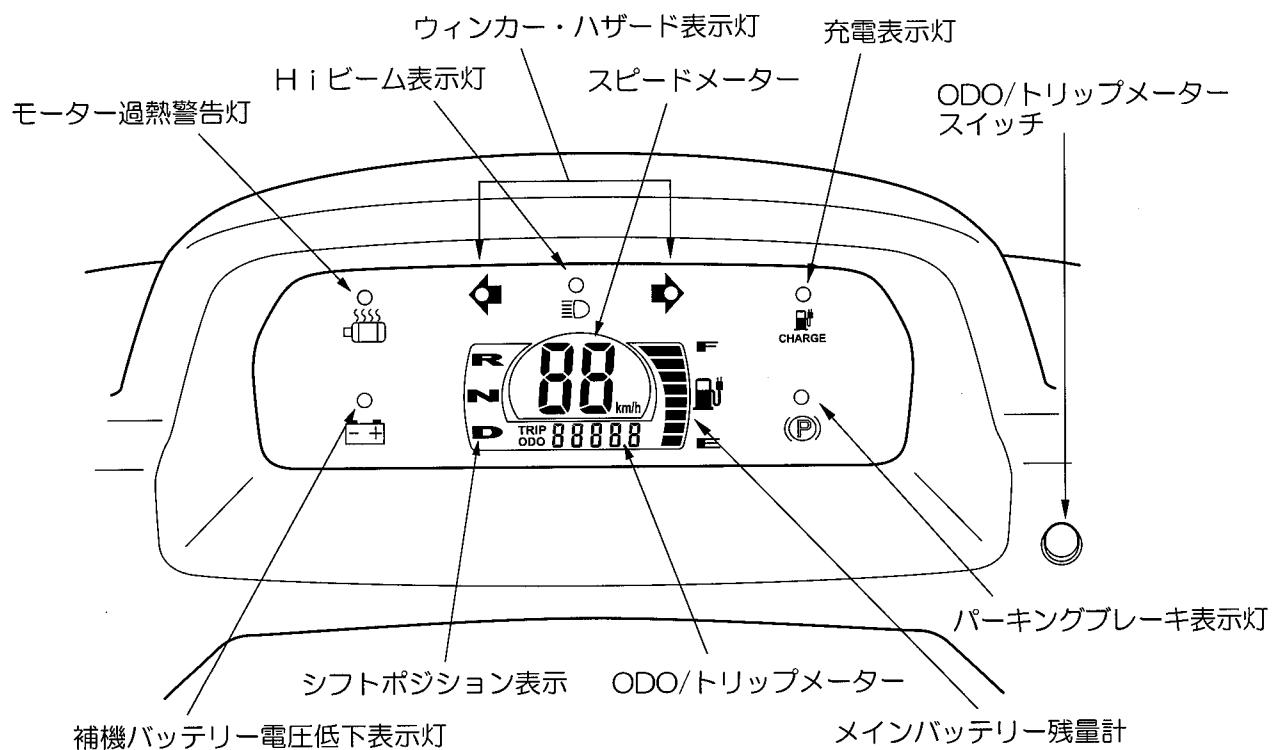


※この図はオプション（トランクボックス）装着車

## [運転者席付近配置図]

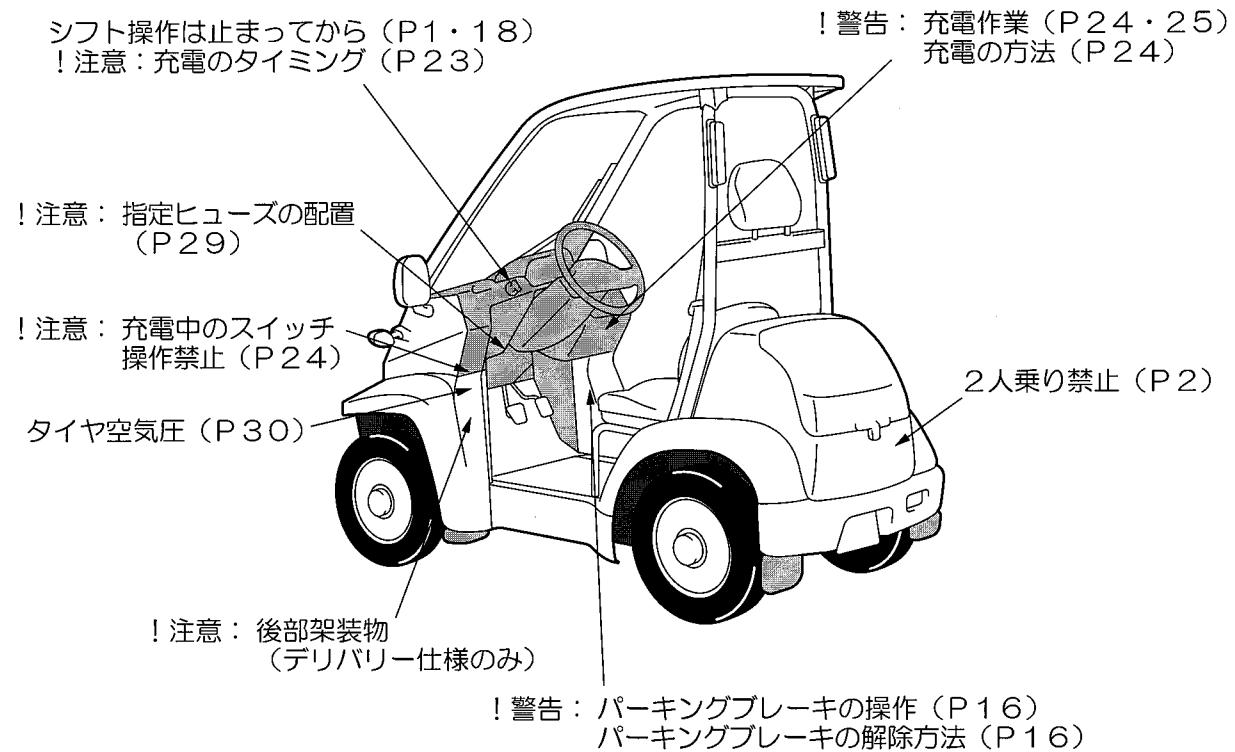
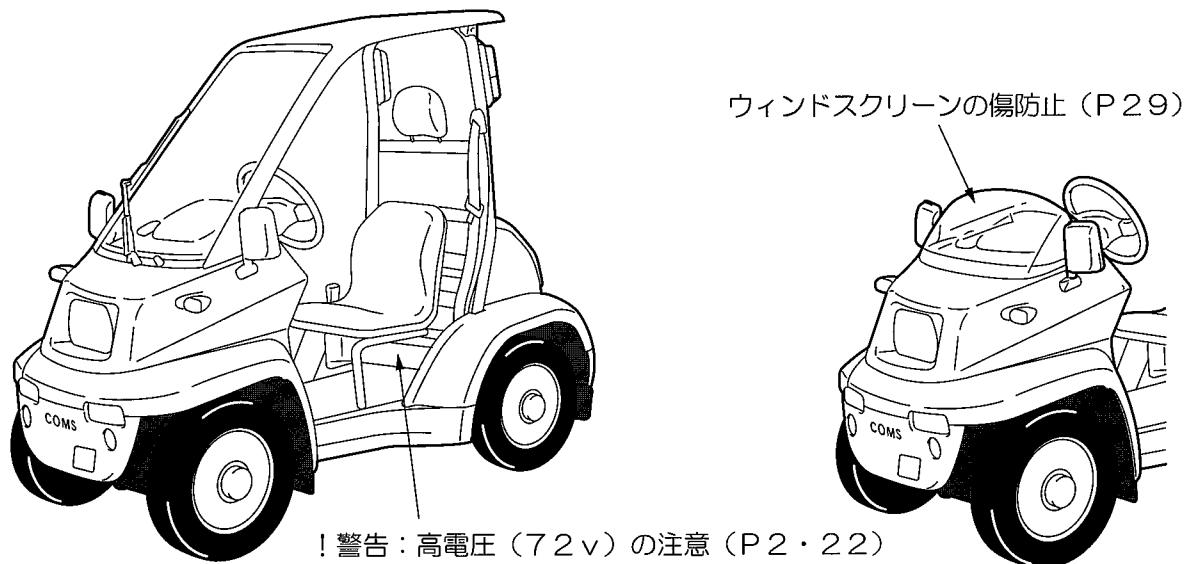


## [スピードメーター周辺の表示]



### 3. 警告・使用方法ラベルの種類と貼付け位置

本体には、安全にご使用頂く為に「警告ラベル」・「使用方法ラベル」を貼付けてあります。ご使用される前に必ずご確認ください。詳しい内容は、カッコ内の項をお読みください。



ラベル類の取外し、改変はしないでください。

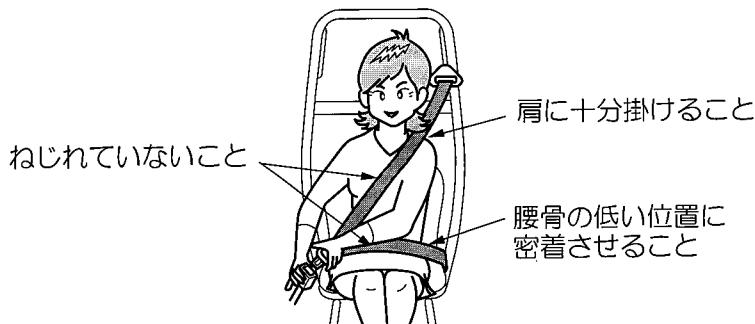
正規のラベルが貼られていないことにより、操作ミスを起こしたり、思わぬ事故の原因になる恐れがあります。

## 4. 安全装置（シートベルト）

### ◇正しい着用

シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。

次の使用方法にしたがって走行前に運転者は必ず着用してください。



### ▲危険

- コムスに乗る場合は、必ずシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと、急ブレーキをかけた時や衝突した時などに重大な傷害を受ける恐れがあり危険です。
- シートベルトを着用する時は必ず次のことをお守りください。守らない場合、衝突した時などにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害を受ける恐れがあり危険です。
  - ・シートベルトは上体を起こして、シートに深く腰をかけた状態で着用してください。
  - ・3点式シートベルトの肩ベルトは、首に掛かったり脇の下を通らせたりして着用しないでください。必ず、肩に十分掛かるように着用してください。
  - ・シートベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用させてください。シートベルトが腰骨から外れていると衝突時、腹部等に強い圧迫を受ける恐れがあります。
  - ・シートベルトはねじれが無いように着用してください。ねじれていると、衝突した時などに受ける衝撃を十分に分散させることができません。
  - ・シートベルトを着用する時は、洗濯挟みやクリップ等でたるみを付けないようにしてください。
  - ・ハンドルや前方（インストルメントパネル）に必要以上近づいて運転しないでください。
- シートベルトのバックルには異物が入り込まないようにしてください。異物が入るとブレートがバックルに完全にはまらない場合があり、衝突時に十分な効果が発揮されず、重大な傷害を受ける恐れがあり危険です。
- ほつれや、擦り切れができたり、正常に作動しなくなったシートベルトは直ぐに交換してください。また、事故により強い衝撃を受けたり、傷のついたシートベルトは直ぐに新品と交換してください。そのまま使用すると十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあり危険です。
- シートベルトの改造や取付け、取外しなどをしないでください。衝突などの時、十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあり危険です。取外しや、交換はコムス販売店にご相談ください。
- シートベルトの清掃にベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。また、漂白したり染めたりしないでください。シートベルトの性能が落ち、衝突時に十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあり危険です。清掃する時は、中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾いてからお使いください。

## ⚠ 警告

妊娠中の女性や疾患のある人がシートベルトを着用する場合、衝突時等に腹部へ強い圧迫を受ける恐れがありますので、医師にご相談のうえご使用ください。

### ◇3点式シートベルト

身体の動きに合わせて伸縮しますが、強い衝撃で体が前に倒れそうな時には、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

- 1) プレートを持って引き出し、ねじれていな  
いことを確かめます。  
シートベルトがロックしたまま引き出せな  
い時は、一度ベルトを緩め、再度ゆっくり  
と引き出します。



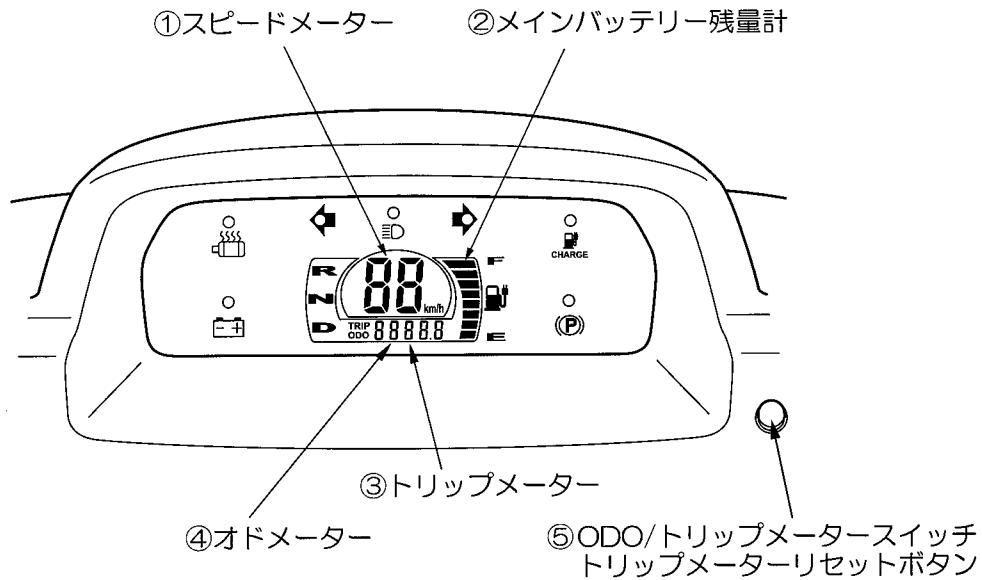
- 2) プレートを“カチッ”と音がするまでバッ  
クルに差し込みます。
- 3) 腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位  
置に掛かるようにし、肩部ベルトを引き、  
腰部に密着させます。
- 4) 肩ベルトは必ず肩に掛かるようにします。
- 5) 外す時はバックルのボタンを押します。



\* コムスに乗られない時はバックルにプレートを差すことをお勧めします。バックルへの異物の  
入り込み防止になります。

## 5. 操作装置

### (1) メーターの見方



#### ①スピードメーター

車両の走行速度を「km / h」の単位で表示します。

#### ②メインバッテリー残量計

キースイッチが「ON」の時に、駆動用バッテリー6個の残量を8段階で表示します。

#### ③トリップメーター(TRIP)

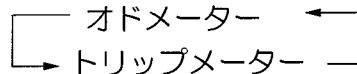
リセット後の走行した区間距離を「km」の単位で表示します。

#### ④オドメーター(ODO)

走行した総距離を「km」の単位で表示します。

#### ⑤ODO/トリップメータースイッチ

トリップメーターリセットボタン  
ボタンを押す毎に次のように表示が切り替わります。

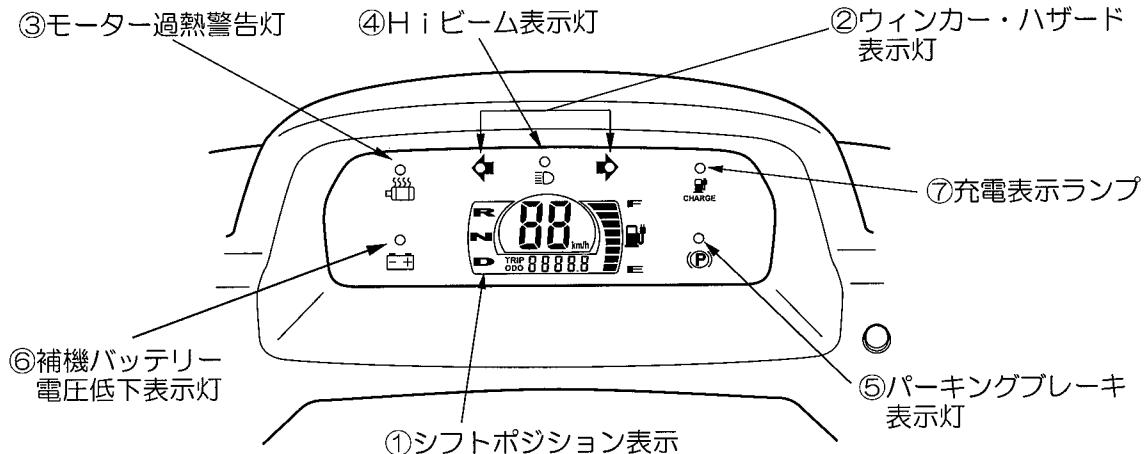


\* トリップメーターを“0”に戻す時には、  
トリップメーターを表示させてボタンを3  
秒ほど押し続けます。

#### チェックポイント

メーターパネルには硬い物を当てたり、むやみにこすらないでください。  
汚れた時は柔らかい布で拭いてください。

## (2) 表示灯・警告灯の見方



### ①シフトポジション表示

選択しているシフト位置を表示します。

### ②ウインカー・ハザード表示灯

ウインカー、ハザードを作動させると点滅します。

#### チェックポイント

点滅が異常に早くなった時には、ウインカーの電球切れが考えられます。ウインカーが点滅しているか確認してください。

### ③モーター過熱警告灯

モーターの温度上昇を検出した時や、インバータの温度上昇を検出した時に点滅・点灯します。

#### チェックポイント

モーターの過熱警告灯が点灯した時は、風通しが良く他の通行車両に対し安全な所で冷却させ、キースイッチを差し直し再び「ON」にすると走行します。

連続してこの現象が発生した場合は、お近くのコムス販売店へご相談ください。

### ④Hi ビーム表示灯

前照灯を上向きにすると点灯します。

### ⑤パーキングブレーキ表示灯

パーキングブレーキのレバーを引くことにより点灯します。

### ⑥補機バッテリー電圧低下表示灯

コンピューター・灯火器用補機バッテリーの電圧値の低下を検出した時に点灯し、ブザー連続音が鳴ります。その約30秒後に車両が緊急停止します。

### ⑦充電表示ランプ

充電コードで、家庭用100V電源に接続されることによって点灯します。充電中はランプが点灯して、色で充電状態を示します。充電コードを抜くと消灯します。更に、充電中のエラー発生時に赤ランプが点滅します。

\*充電表示ランプの色と、点灯・点滅のタイミングは次の通りです。

#### ・赤ランプ点灯

充電を開始した時点で点灯します。

#### ・オレンジランプ点灯

メインバッテリー2段目に切替わりまた、補機バッテリーの充電を開始します。

#### ・緑ランプ点灯

充電を終了した時点でオレンジから緑に変わります。

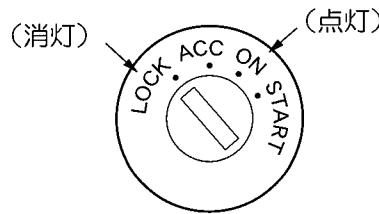
#### ・赤ランプ点滅

赤ランプが点滅している時は充電中の異常によるエラー状態を示します。

### (3) 視界の確保

#### ◇前照灯スイッチ

キースイッチ「ON」で前照灯が点灯して、「LOCK (ACC)」で消灯します。



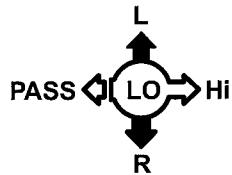
#### ・前照灯を上向きに切替える

ワインカーレバーを前方 (Hi 方向) に押します。

前照灯が上向きの時には、メーター内の「Hi ビーム表示灯」が点灯します。

#### ・パッシング

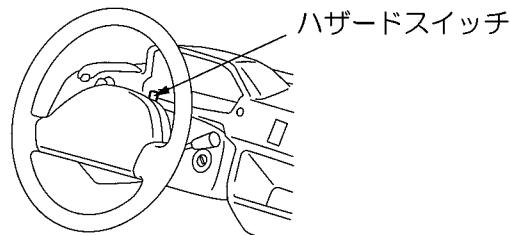
ワインカーレバーを手前 (PASS 方向) に引いている間、上向きになります。この間、メーター内の「Hi ビーム表示灯」が点灯します。



#### ◇ハザードスイッチ

故障などでやむを得ず、路上駐車する場合、他者に知らせる為使用します。

- ・スイッチをつまみ上げるとすべてのワインカーが点滅します。
- ・メーター内にあるワインカー表示灯も点滅します。押し込むと消灯します。



\* 不必要に点灯を続けるとバッテリーが消費され、走行距離に影響しますのでご注意ください。

#### ◇ワインカーレバー

- ・レバーを上または下へ操作すると、左または右側のワインカーが点滅します。また、メーター内のワインカー表示灯も点滅します。
- ・レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。戻らない時には、手で戻してください。

#### ◇ワイパースイッチ

- ・ワイパースイッチの上方を押すと作動します。
- ・上方を更に押し込むと、ウォッシャー液が押している間出ます。



\* オープンタイプには、この装置は搭載されていません。

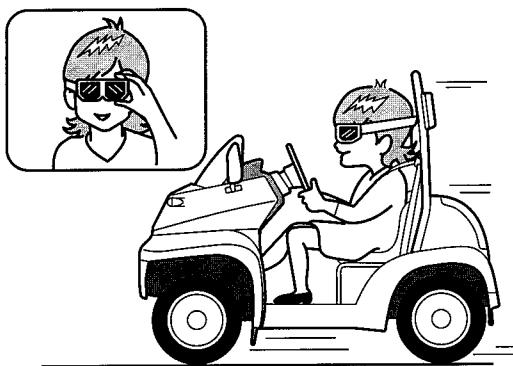
#### チェックポイント

- ・汚れを落とす時は、必ずウォッシャー液を出してからワイパーを作動させてください。ガラスが乾いている時にワイパーを作動させると、ガラスを傷つけることがあります。
- ・ウォッシャー液が出ない時、スイッチを押し続けるとポンプが故障する恐れがあります。液量や、ノズルの詰まりを点検してください。

## (4) 運転装置

### ◇オープンタイプに乗る時

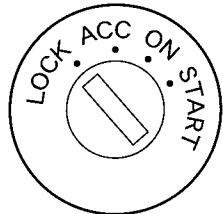
オープンタイプには視界を遮るものがない代わりに、走行中の風をまともに受けることになります。ゴーグル等を使用して目を保護してください。



### ⚠ 注意

走行中は目を保護する物を装着してください。目が乾燥して傷めたり、虫やホコリが入り込んで傷めたりして、安全運転に支障をきたす恐れがあります。

### ◇キースイッチ（前照灯スイッチ）



#### [各位置の働き]

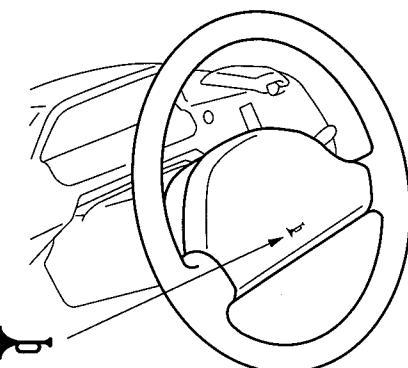
- **LOCK**：キーを抜き差しできる位置。キーを抜きハンドルを回すとハンドルがロック状態になります。
- **ACC**：けん引時に使用します。
- **ON**：走行可能状態になり、スピードメーター表示、前照灯などのライト類が点灯します。
- **START**：通常この位置まで回しても「ON」に戻ります。

#### チェックポイント

キースイッチ「LOCK」から「ON」方向へ回す際、キーが回りにくい時があります。その時は、ハンドルを左右に振りながらキーを回してください。

### ◇ホーン

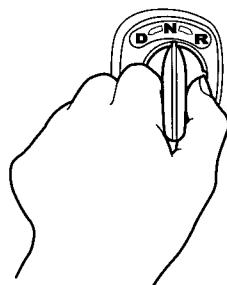
キースイッチが「ON」のとき、ハンドルのマーク周辺を押すとホーン（警音器）が鳴ります。



## ◇シフトチェンジ

### [各位置の働き]

- ・ R（リバース）：後退走行時のレンジです。“ピー、ピー、ピー”とブザーが鳴り、レンジが「R」であることを運転者に知らせます。
- ・ N（ニュートラル）：駐車、停車する時のレンジです。
- ・ D（ドライブ）：前進走行時のレンジです。



### チェックポイント

- ・走行可能状態で3分間レンジを「N」から動かさない時は、節電機能が働き電源が切れます。その時、電源の切れる前30秒間、警告として断続ブザーが鳴ります。復帰はキーをイッヂを入れ直してください。
- ・シフトレンジが今どの位置にあるかを、スピードメーターパネル内に「R・N・D」で表示します。
- ・コムスのシフトチェンジは一般乗用車と違います。シフトレンジを「R」または「D」にして、キーを抜いても車輪は固定されていないため回転します。  
駐・停車時は、パーキングブレーキを使用するように習慣付けてください。

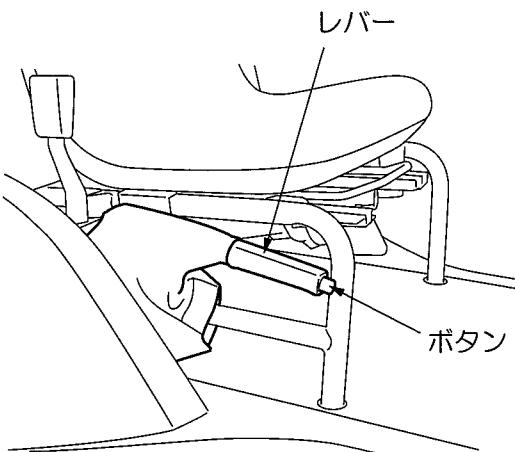
## ◇パーキングブレーキ

### ・駐車するときは

ボタンを押さずにレバーをいっぱいまで引きます。

### ・もどすときは

レバーを少し引き上げながら、先端のボタンを押さえてもどします。ブレーキが解除されると、メーター内の表示灯が消えるので確認してください。



### ⚠ 警告

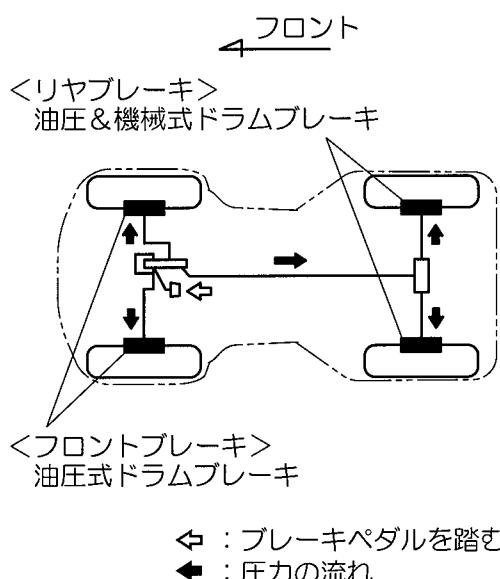
表示灯が消えていることを確認してから、走行してください。

パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキが早く磨耗したり、ブレーキが過熱して効きが悪くなる恐れがあります。

## ◇ブレーキ

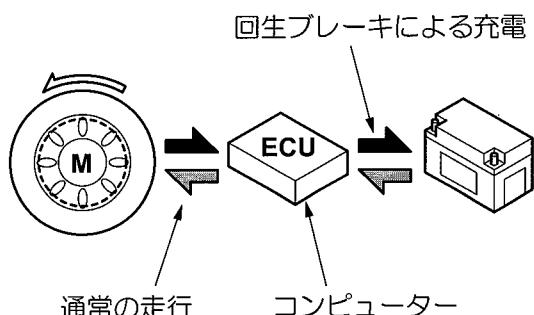
ブレーキは四輪ドラムブレーキを採用しています。また、補助的減速装置として回生ブレーキ（エネルギー回生機能）があり、アクセルペダルを緩めることによって作動し、ブレーキペダルを踏むことによって更に回生させ減速を補助します。

### ・四輪ドラムブレーキとは



### ・回生ブレーキとは

エネルギー回生機能とも言いますが、補助的に作動する減速機能です。タイヤの回転をモーターが発電機となって電気に変換し充電します。

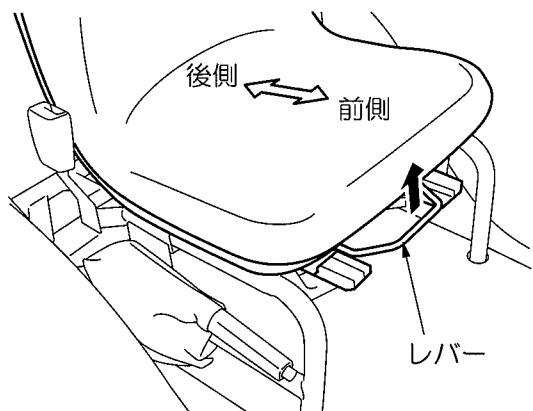


## ⚠ 注意

満充電の時は、回生ブレーキ（エネルギー回生機能）が、働きません。

## ◇スライドシート

- ・レバーを引いたままシート位置を調整してください。
- ・レバーから手を離し、シートを軽く前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。



## チェックポイント

次の事項に注意してシートを調整します。

- ・ハンドルが楽に操作できること。
- ・ペダルが十分踏み込めること。
- ・シートベルトが正しく装着できること。
- ・背もたれから背を離さないこと。

## ⚠ 警告

- ・シートを調整しているときは、シートの下や動かしている部分の近くに手を近づけないでください。指や手をはさみ、ケガをする恐れがあります。
- ・シート位置の前後調整は、走行する前（停車中）に行なってください。走行中にシートをスライドさせると、思わぬ事故につながることがあります。

## 6. 運転操作

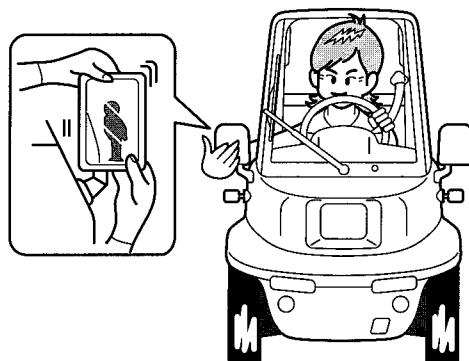
### (1) 走行する前に

- ①正しい運転姿勢をとり、シートベルトを締めてください。



走行中はシートベルトをかならず着用してください。道路交通法に違反することは勿論、走行中に車外に放り出されたり、ちょっとした追突で怪我をすることがあります。

- ②サイドミラーは、後方の様子がしっかり確認できるように調節してください。



#### チェックポイント

調節はシートに座って、ミラーに写る後方の視界を確認しながら両手で行ってください。

#### ◇キースイッチ「ON」

- ①パーキングブレーキがかかっていることを確認します。  
②シフトスイッチは「N」の位置にある事を確認して、ブレーキペダルを右足で踏んだ状態でキーを回し「ON」にしてください。



#### チェックポイント

- キースイッチを「ON」にし、しばらくしてスピードメーターが“0（ゼロ）”を表示すると走行可能となります。
- シフトスイッチが「N」以外の時、またアクセルペダルを踏んでいる時は“走行可能状態”に移行しません。
- ブレーキペダルを踏み、シフトを「N」にしたのを確認して、キー操作をしてください。

#### ◇発進

- ①アクセル・ブレーキペダルの位置を右足で確認してください。



足元には何も置かないでください。ペダルの操作が思うように行えず非常に危険です。

#### チェックポイント

ブレーキランプ、ハザードランプはキースイッチの「ON・OFF」関係なく点灯可能です。

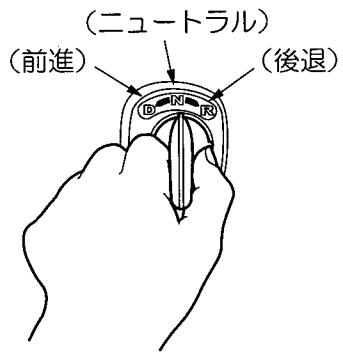
- ②ブレーキペダルをしっかりと踏み、パーキングブレーキのレバーをもどし、メーター内の表示灯が消えるのを確認してください。



長い時間の停車または駐車する場合は、平坦地であってもコムスが動かないようブレーキペダルをしっかりと踏み、常にパーキングブレーキを使用するように習慣付けてください。

## (2) 走 行

③進行方向にシフトを設定します。



④ブレーキペダルを緩め、アクセルペダルをゆっくり踏み込む事によって発進します。

### !**警告**

コムスが動いている状態の時にシフトチェンジをしないでください。コムスが動いてる状態でシフトスイッチを操作すると、モーターが破損したり、また急制動、急発進の挙動につながり大変危険です。

◇走行中のインジケータランプ

メインバッテリーの残量表示（スピードメーター内に8段階表示）は、バッテリーの容量低下に伴って上から一つずつ液晶表示が消えていきます。



残量表示が4メモリから3メモリ、3メモリから2メモリ、2メモリから1メモリになった時に、断続ブザー（ピッピッピッ）で知らせます。ブザーは15秒間で鳴り止みます。

### チェックポイント

- 表示が最後の2目盛になったら、速やかに充電してください。そのまま走り続けると（※路面状況や車両状態、外気温、バッテリー劣化具合等により変化しますが、5km程走行可能）表示が点滅すると共に、ブザー（断続音）が約30秒間鳴りコムスが停止します。
- ブザーの鳴っている約30秒の間に安全な場所へ移動してください。  
走行によっては30秒未満でエラー停止する場合もあります。
- 不都合な場所で停止してしまった場合、キースイッチを再び入れ直す事により、更に約30秒間走行できます。安全な場所へコムスを移動してください。  
(連続したキースイッチの入れ直し走行はバッテリーの劣化を早めることになります。)

### (3) 停 車

#### ◇通常の走行

シフトを「D」のまま走行します。アクセルペダル・ブレーキペダルの操作で、速度調節（加速・減速）します。

#### ◇上り坂走行

##### ⚠ 注意

長い上り坂を走行すると、モーター類が過熱して警告ランプが点灯することがあります。安全な場所に移動して、しばらく冷却させてから走行するようしてください。そのまま走行を続けると緊急停止する事があります。

#### ◇下り坂走行

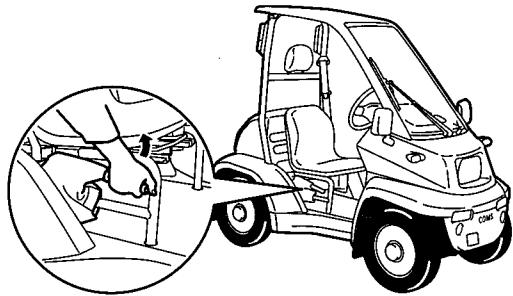
回生ブレーキ（エネルギー回生機能）を利用して走行してください。必要に応じてブレーキペダルを踏んでください。

##### ⚠ 注意

走行中にはシフトを「N」にしないでください。「N」にすると回生ブレーキが効かない為、思わぬ事故につながる恐れがあります。

①シフトレンジを「D」のままブレーキペダルをしっかりと踏み停車させます。

②信号待ち等の長めの停車時は、シフトレンジを「N」にしてパーキングブレーキを使用してください。バッテリーの消費を少なくし、走行距離を稼ぐ事ができます。



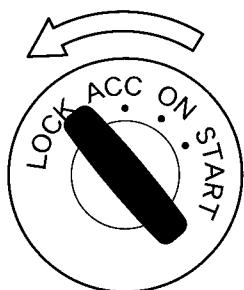
##### ⚠ 注意

パーキングブレーキ使用中はアクセルペダルを踏込まないでください。ブレーキの効きが甘くなったり、モーターに過大な負荷が掛かり故障の原因となることがあります。

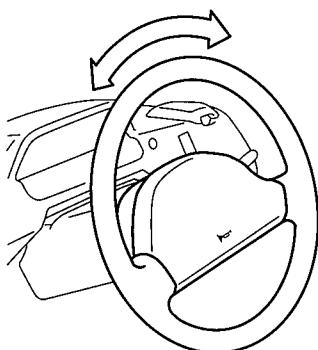
③停車後、再度発進する時はシフトスイッチが「D」または「R」の位置にあること、そしてパーキングブレーキの解除を確認してから、ゆっくりアクセルを踏み込んでください。

## (4) 駐 車

- ①車両が完全に停止したのを確認してからシフトレンジを「N」にします。
- ②パーキングブレーキのパーキングブレーキのレバーをいっぱいまで引いてください。
- ③キースイッチを「LOCK」へ回して、キーを抜いてください。



- ④ハンドルを右か左方向へ回すとハンドルが固定されます。その時、“カチッ！”という音がします。ハンドルを左右に回して、ロックしたのを確認してください。



## 7. バッテリー充電

### (1) バッテリーについて

#### ◇管理上の注意点

- ・過放電をしない為にも、充電のタイミングは守って充電を行ってください。放電したまま放置すると、バッテリーの劣化を更に早めることになります。
- ・充電する時は、充電表示ランプが緑色に変わるまで行ってください。充電の中斷（オレンジランプ点灯時）を連続して行い、走行するとバッテリーの劣化を早める事になります。
- ・長期間、放置（使用しない）する時は1ヶ月毎に充電をしてください。常に満充電の状態にしておく事によりバッテリーの劣化を防止できます。

#### チェックポイント

- ・コムスに搭載されている専用充電器以外は使用しないでください。
- ・バッテリーが過放電（メイン：50V、補機：9V未満）することにより、充電が不可能になります。一度過放電になったバッテリーは、新しいものと交換してください。

#### ◇バッテリーの交換

バッテリーは使用経過と共に性能や安全性が低下していきます。性能が低下した時はメインバッテリー、補機バッテリーを同時に交換してください。

#### ▲注意

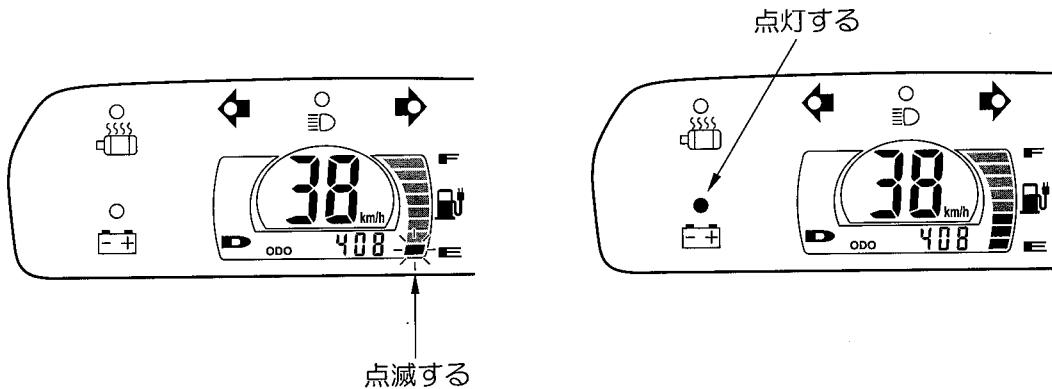
- ・コムスに搭載のメインバッテリー、補機バッテリーは専用品です。点検整備、および交換等はすべてコムス販売店へおまかせください。
- ・種類、容量の違うバッテリーに交換すると、故障や事故の原因となります。

#### ▲危険

コムス販売店の行う定期点検時以外は、バッテリーのカバーを外さないようにして下さい。高電圧ケーブル（72V）が配線されており、感電して大怪我、または生命に関わる重大な傷害を受ける恐れがあります。

## (2) 充電のタイミング

メインバッテリー残量計・補機バッテリー表示灯が点滅または点灯した場合、速やかに充電してください。



### ○メインバッテリー（動力用）

残量計が2目盛になったら充電してください。

### チェックポイント

- ・ 残量表示が4メモリから3メモリ、3メモリから2メモリ、2メモリから1メモリになった時に、断続ブザー（ピッピッピッ）で知らせます。ブザーは15秒間で鳴り止みます。
- ・ メインバッテリー残量計が1つになって点滅するまでの走行可能距離は約5km程度です。
- ・ メインバッテリー残量計が点滅（同時に断続ブザー音）してから走行可能な時間は約30秒です。その後、コムスは緊急停止します。

### ○補機バッテリー（灯火器・コントローラー用）

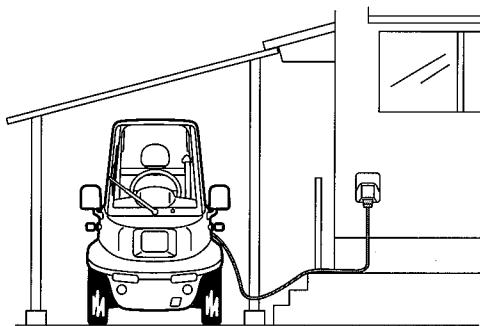
表示灯が点灯する前に充電してください。

### チェックポイント

補機バッテリー表示灯が点灯（同時に断続ブザー音）から走行可能な時間は約30秒間です。その後、緊急停止します。

### (3) 充電の方法

- 1) パーキングブレーキをかけてコムスが動かない事を確認してください。
- 2) シフトレンジを「N（ニュートラル）」の位置にしてください。
- 3) キースイッチを「LOCK」の位置にして抜いてください。
- 4) 充電コード(付属品)を車両側コンセントへ、次に家庭用100V電源コンセントに差し込みます。



#### チェックポイント

- ・コムスは充電時に最大約13Aの電気を消費します。同時に電子レンジやヘアードライヤー等の消費電力の大きい電化製品を使用すると、ブレーカーが遮断する事がありますのでご注意ください。
- ・充電は1つのコンセントに1台のコムス（充電コード）とし、タコ足での充電はないでください。

#### 警告

- ・ぬれた手で充電作業を行わないでください。感電する恐れがあります。
- ・充電中はイタズラをされないようにご注意ください。思わぬ事故や怪我、またコムスの機器の故障原因になる恐れがあります。

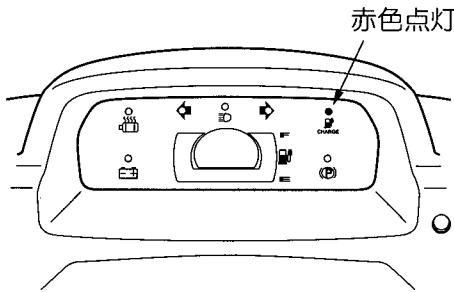
#### 危険

充電は屋根（車体力バー）等があり、雨や雪のかからない所で行ってください。機器の破損、また感電の恐れがあり危険です。

#### 注意

充電コードを差込み口に差す時は奥の方までしっかりと差し込んでください。機器の破損、また漏電による感電の恐れがあり危険です。

- 5) 充電表示ランプ（赤色）が点灯し充電開始を表示します。



#### チェックポイント

- ・充電中はキーの操作、警告音の作動やランプ類を点滅させないでください。充電を中断（充電エラー）する事があります。
- ・点灯しない時は電源側に問題がある可能性があります。
- ・充電時間は開始時のバッテリー残量によって異なります。残量ゼロに近い状態からの充電はベーシックで約8時間程度、コムスロングで約13時間程度かかります。

6) 充電が順調に行われると、充電表示ランプの色が赤からオレンジに変わります。この時の充電状態は、メインバッテリー2段目に切替わりまた、補機バッテリーの充電を開始したときです。

\*充電表示ランプがオレンジ色点灯中には、充電を止めないでください。やむを得ず、この段階で走行した場合は次の充電で、必ず満充電（緑ランプ点灯）にしてください。

### チェックポイント

充電表示ランプが赤点滅している時は充電異常です。

コードを抜き操作を始めから行い、それでも赤点滅する時はコムス販売店へご相談ください。

7) 充電表示ランプがオレンジ色から緑色に変わった時点で充電完了です。

充電コードを各コンセントから抜いてください。抜いた時点で緑色ランプが消灯します。

### 注意

- ・充電コードをコムス側コンセントへ差し込んだまま走行しないでください。ペダル操作の妨げになり思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・充電コードの引抜きはプラグ部を持って行ってください。コード部を引くと中の線が切れて故障や事故の原因になります。

\*充電完了後は、充電コードを差したまま長時間放置しないでください。（緑ランプは点灯し続けています）

## 8. 寒冷時の取扱い

### チェックポイント

冬期は気温と共にバッテリー能力も低下し、走行距離（一回の充電）が短くなります。

#### ◇ウォッシャー液

ウォッシャー液の凍結を防ぐ為、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考に希釈してください。

#### ◇屋根に積もった雪

走行中、屋根に積もった雪が視界の妨げになります。走行前に取り除いてください。

#### ◇ガラス面に付いた雪や霜

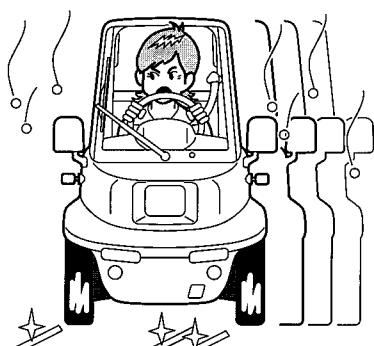
視界の妨げになる雪や霜は、プラスチックの板やお湯を用いて、ガラスに傷を付けないように取り除いてください

#### ◇ワイパーの凍結

無理に動かそうとして、スイッチを押し続けると、装置が破損したり、ヒューズ切れを起こす原因となります。

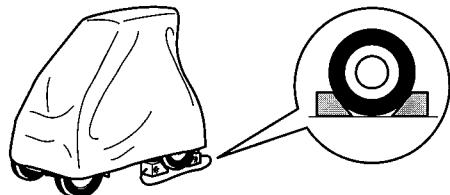
#### ◇滑りやすい路面の走行

- ・急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の“急”的動作は避けてください。
- ・橋の上や、日陰など凍結しやすい場所では減速してください。
- ・積雪時、凍結路では早めにタイヤチェーンを装着してください。



### ◇駐車する時は

- ・寒冷時は、パーキングブレーキをかけるとブレーキ装置が凍結して解除できなくなる恐れがあります。市販の輪止め等を利用してください。



- ・降雪時は、寒さでワイパーがガラスに凍り付く恐れがあります。ワイパーームを立てて駐車してください。

### チェックポイント

コムスは一般乗用車と違い、駆動部にホールインモーターを使用している為、「R」「D」レンジでタイヤをロックする事が出来ません。

#### ◇タイヤチェーン

- ・タイヤチェーンは後2輪に取り付けてください。前輪に付けると、車体に接触し走行機能に悪影響を及ぼす恐れがあります。
- ・タイヤチェーンの取付け、および取り扱い方法はタイヤチェーン付属の取扱書に従ってください。

### 注意

タイヤチェーンはコムス専用のものを使用してください。他車のタイヤチェーンを使用すると、事故や故障の原因になることがあります。

### 注意

タイヤチェーンを装着して走行する時は、突起や穴を乗り越えたり、急ハンドルや車輪がロックするようなブレーキ操作などしないでください。車両が思わず動きをして事故につながる恐れがあります。

## 9. メンテナンス

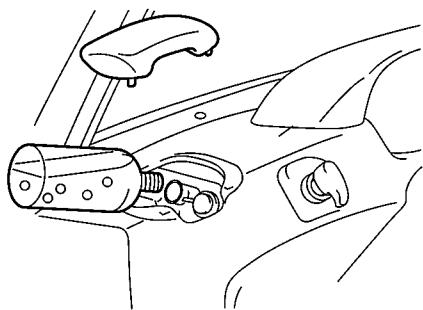
### (1) 日常点検

#### ◇ワイパーの点検

- ・ワイパーを作動させ正常に機能しているかを確認します。
- ・ワイパーブレードの劣化により拭き残しがある場合は交換してください。  
交換はコムス販売店へご相談ください。

#### ◇ウォッシャー液の点検

ウォッシャー液が不足している場合は、ウォッシャータンクのキャップを外し、容器に表示してある凍結温度を参考に希釈して補給します。タンク容量は1リットルです。

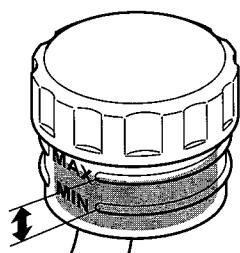


#### チェックポイント

ウォッシャー液はカー用品販売店、ガソリンスタンド、コムス販売店等でお買い求めください。他のせっけん水等を入れ、使用されると塗装面にしみが残る恐れがあります。

#### ◇ブレーキフルードの点検

リザーバータンクの液面がMIN線とMAX線の間にあるかを確認し、MIN線より下にある場合はMAX線まで指定のブレーキフルードDOT3を入れてください。  
他のブレーキフルードとの併用はやめてください。



\*ブレーキフルードがボデー等に付着すると塗装がはがれる事があります。

\*ブレーキフルードは3年に1度、定期点検整備の時に交換してください。

#### ⚠警告

- ・粗悪品や、他種の油と混ぜることをしないでください。ブレーキが作動しない恐れがあり非常に危険です。
- ・ブレーキフルードの減りが著しい時は、漏れが考えられます。ブレーキが作動しない恐れがあり非常に危険です。

#### ◇タイヤ空気圧の点検

タイヤの空気圧は必ず点検してください。空気圧は、運転席の左側足元の位置に貼られている「タイヤ空気圧」の表、または次項のメンテナンスデータで正しい空気圧を確認のうえ、調整してください。

#### ◇タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤ接地面の全周や両側面に著しい亀裂や損傷がないか、また異物の噛み込みが無いかを点検する。

#### ◇タイヤ溝の深さの点検

タイヤ接地面のウェインジケータ（摩耗限度表示）等により、溝の深さを点検してください。

#### ◇タイヤの偏摩耗の点検

タイヤ接地面に異常な摩耗が無いかを点検してください。

#### ◇ホイールナットの点検

タイヤホイールを固定しているナットに、緩みが無いかを点検してください。

## (2) ボーデーのお手入れ

### ◇警音器の点検

警音器（ホーン）がなるか、ハンドルのホーンスイッチを押して点検してください。

### ◇ブレーキの点検

ブレーキペダルを踏み込んだ時、異常に軽くないか、引っかかる感触がないかを確認してください。更に、効き具合が十分であるかを乾燥した路面を走行して点検してください。

### ◇パーキングブレーキの点検

パーキングブレーキのレバーを引いた状態でコムスが手で押して動かない事、またレバーの操作に異常が無いことを確認してください。

### ◇灯火装置、方向指示器の点検

前照灯（ヘッドライト）、尾灯（テールランプ）等の灯火装置や方向指示器の点滅状態が良好か、またレンズに汚れや損傷が無いかを点検してください。

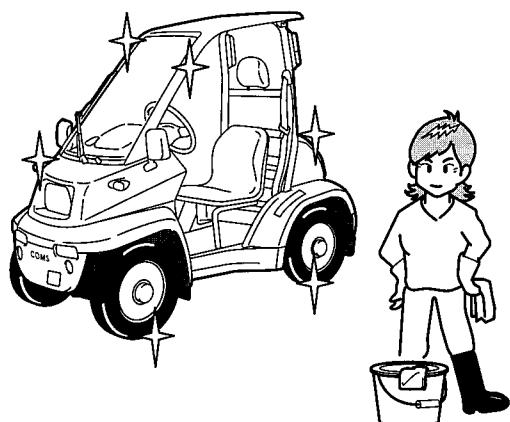
ボーデーのツヤを保持する為に、月に1度または水のはじきが悪くなったら、濡れた雑巾等でお手入れしてください。

### ▲注意

- ・直接、水をかける洗車は避けてください。バッテリー、電気系統部分に水がかかると最悪の場合、電気部品の故障の原因となります。
- ・ブレーキの制動部分に水をかけないでください。水がかかるとブレーキの効きが悪くなる恐れがあります。
- ・下回りのお手入れでは、手に怪我をしないようにご注意ください。

### チェックポイント

- ・洗車後は、安全な場所で周囲の交通事情に充分注意しながら、低速でブレーキの効き具合を確認してください。
- ・カラー塗装は固形ワックスも使用できます。



### (3) その他の点検整備

#### ◇ ウィンドスクリーンの清掃

ウィンドスクリーンオープンタイプの汚れを取りる時は、中性洗剤を含ませた柔らかい布またはスポンジで汚れを拭き取ってください。

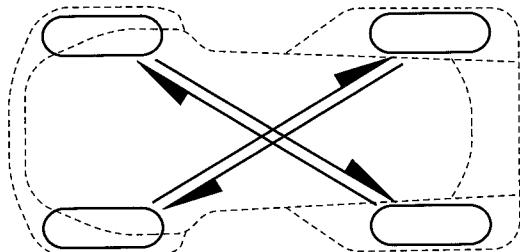


#### チェックポイント

- ・インパネの上に物を置かないでください。ウィンドスクリーンが傷つくことがあります。
- ・ガソリン、ブレーキフルード、シンナー等の有機溶剤がかかると亀裂の恐れがあります。

#### ◇ タイヤの位置交換

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を延ばす為に2000km毎に位置交換します。



#### ◇ ヒューズの点検・交換

ランプが点灯しない時や、コムスが動かない時はヒューズ切れが考えられます。  
コムス販売店までご連絡ください。

#### 危険

電気系統にはむやみに工具や素手で触れないようにしてください。感電して大怪我、または生命に関わる重大な傷害を受ける恐れがあります。また、走行不良を起こしたり、故障の原因にもなります。

#### ◇ 定期点検整備

- ・6ヶ月、1年、2年のコムス販売店で行う点検整備があります。定期的に交換が必要な部品がありますので、コムス販売店の指示に従ってください。
- ・日頃コムスを乗っている時に感じられた不具合等がありましたらコムス販売店の方に相談してください。

\*メンテナンスノート（点検整備記録簿）を良くお読みになり、その指示に従ってください。

## (4) メンテナンスデータ

### ◇整備情報

ブレーキペダルの遊び	1~5mm	
ブレーキペダルと床との隙間	40mm以上	
パーキングブレーキの引きしろ	4~6ノッチ・200N	
タイヤ空気圧	前輪	150 kPa (1.5kgf/cm <sup>2</sup> )
	後輪	175 kPa (1.75kgf/cm <sup>2</sup> )
ブレーキフルード	DOT 3	
ウォッシャータンク容量	1リットル	
電球	前照灯／Hiビーム	45W／45W
	フロントウィンカー／車幅灯	21W(兼ハザード)／5W
	リヤウィンカー	21W(兼ハザード)
	ブレーキランプ／テールランプ	21W／5W
	番号灯	5W
	後退灯	21W

### ○コムスの保証について

トヨタ車体では、お買い上げ頂いた製品について、「トヨタ車体保証制度」に基づいた品質の保証を致しております。別冊のメンテナンスノートに、その保証内容が詳しく記載してありますのでご参照ください。

### ○メンテナンスノート（点検整備記録簿）

メンテナンスノートは、定期点検整備の実施内容を記録するもので、運転免許証、届出済証、保険証書などと一緒に常に携行していかなければなりません。汚したり、濡らしたり、紛失しないように大切に保管しておいてください。

### ○点検修理の場合は

点検整備の中には技術的知識を必要とする構造・装置（モーター、コンピューター等）があります。お客様自身で作業および、良否の判定が出来ない場合はコムス販売店へご相談ください。

◇諸元表

仕 様		ベーシック	オープン	ロング
車両型式	車名及び型式	AK10E	AK11E	AK15E
	原動機の形式	アイシン・エイ・ダブリュ EW-10		
重量	車両総重量(kg)	345	335	405 (パイプ代々木含む)
	車両重量(kg)	290	280	350 (パイプ代々木含む)
性能	種別又は範囲	※1 第一種原動機付自転車(四輪)		
	燃料の種類	電気		
	1充電走行距離 (市街地走行)	※2 35km程度		※2 45km程度
	最高速度(km/h)	前進:50/後進:15		
	最小回転半径(m)	2.6		3.3
	最大積載量(kg)	30		
	乗車定員	1名		
主要寸法	全 長 (mm)	1935(デリバリ-2250)		2365
	全 幅 (mm)	955		
	全 高 (mm)	1600	1570	1600
	軸 距 (mm)	1280		1710
	輪 距 (mm)	前軸:840 後軸:815		
	タイヤ(前輪・後輪)	90/90-12 54J		
メインバッテリー		密閉型鉛電池12V×33Ah×6個		密閉型鉛電池 12V×52Ah×6個
補機バッテリー		密閉型鉛電池12V×28Ah×1個		
充電装置	制御方式	メインバッテリー:5段階充電 補機バッテリー:定電流定電圧充電+トリクル充電		
	充電時間	※3 8時間程度		※3 13時間程度
	交流入力電源	100V 10A		100V 12A
制動方式		4輪ドラムブレーキ(フロント:油圧式、リヤ:油圧・機械式)		
原動機	駆動方式	後輪ハイールイン直接駆動		
	定格出力(kW)	0.29×2個		
	種類	永久磁石型同期電動機		
	制御方式	PWMベクトル制御		
	最大出力(kW)	2.0×2個		

※1 道路交通法上は、4輪原動機付自転車なので普通免許が必要です。

※2 1充電当たりの走行距離は気温、走行状態、バッテリーの劣化具合によって変化します。

※3 定められた試験条件のもとでメインバッテリー残量計が消えた状態から充電ランプがグリーンに至るまでの所要時間です。実際の充電時には、この条件(気象・整備・バッテリーの劣化・充電などの条件)に応じて異なります。

# 10. 万一の場合

## (1) 警告機能

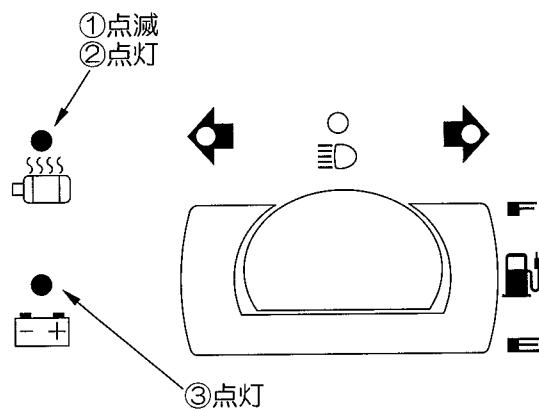
コムスは、故障（不具合）を最小限に押さえる為、異常を感じるとウォーニングランプの点滅・点灯や、ブザーが鳴ったり、緊急停止させたりして運転者へ知らせる警告機能が組み込まれています。

### ◇ウォーニングランプで知らせる

メーター内部にあるランプが、異常を感じた時に点滅・点灯します。



ランプの点灯後は、無理に走行を続けないでください。大きな故障にしない為に、早めの対応をしてもらう異常表示です。

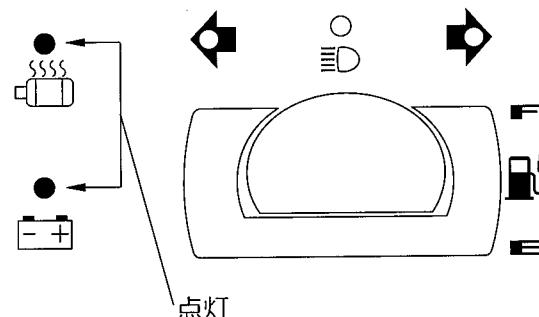


### ◇ブザー音で知らせる

ブザーが断続音や連続音で鳴り、運転者にコムスが今どのような状態かを知らせます。制御を遮断する等の注意を促す為の警告です。

### ◇緊急停止処理

異常を感じると、スピードメーター内の表示を消しウォーニングランプを点灯させ、車両への電源供給を停止させます。



◇警告内容とその対応方法

ブザー	ウォーニングランプ	警告内容	対応方法
断続音	点灯しない	後退	シフトレンジが「R」です。後方の安全を確認して走行する。
		メインバッテリー残量低下 メインバッテリー残量計が4メモリから3メモリ、3メモリから2メモリ、または2メモリから1メモリになった時鳴る。 (ブザー音の周期を変え15秒間で鳴り止む) イグニッションON時に残量計が3メモリ以下(15秒間で鳴り止む)	充電できる所へ移動する。
		通信不良(残量計全点滅)	キースイッチの入れ直しをする。
		節電機能	キースイッチの入れ直しをする。
		アクセルを踏みイグニッションをON	アクセルを戻します。
		充電中にイグニッションをON	キーをOFFに戻します。
		イグニッションON状態で充電した場合	充電コードを抜きます。
		補機バッテリー電圧低下	点灯して約30秒後に緊急停止します。 充電できる所に移動する。
	(点灯)	モーター出力低下	速度を落とすか、停車させて5分ほど自然冷却させる。
		モーターインバーター温度上昇	道路状況に応じて速度を落とすか、停止させ自然冷却する。
連続音	(点灯)	補機バッテリー電圧低下停止	充電してください。
		モーター出力停止	停車して、30分ほど自然冷却させる。
		異常緊急停止	キースイッチの入れ直しをする。

**▲注意**

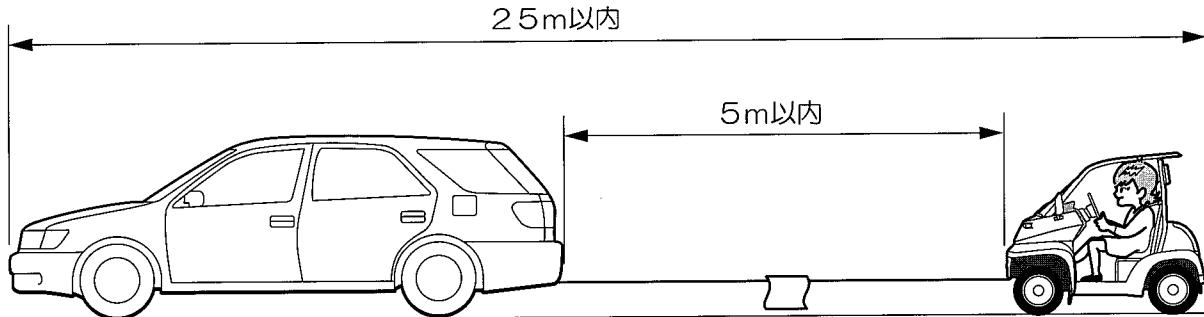
モーターは停止しますが車両は惰性で走行します。ブレーキを踏みながら、他の通行車両等の妨げにならない安全な場所を探して、車両を止めてください。

**チェックポイント**

緊急停止した場合、再度キーを差し直して走行可能になる事があります。同じ内容が再び繰り替えされた場合、コムス販売店へ連絡して、点検を受けてください。

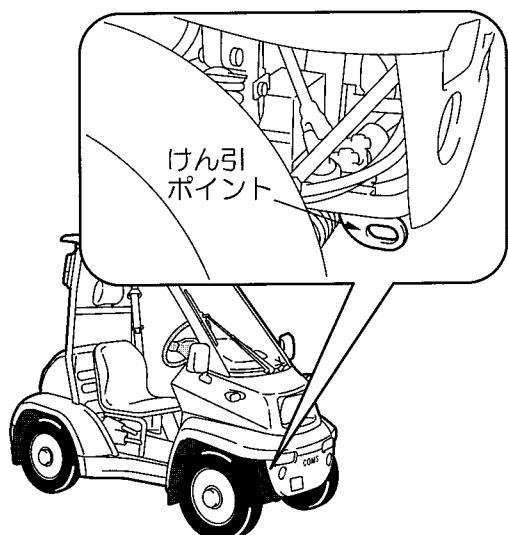
## (2) けん引

けん引はできるだけコムス販売店へ依頼してください。



- ①ボデーに傷を付けない様（接触部分には布等を巻く）に、必ずけん引ポイントにソフトロープをかけてけん引してください。  
けん引ロープには、30センチ平方（30cm×30cm）以上の白い布をロープ中央に必ずかけてください。

- ②キースイッチは必ず「ACC」の位置にしてください。

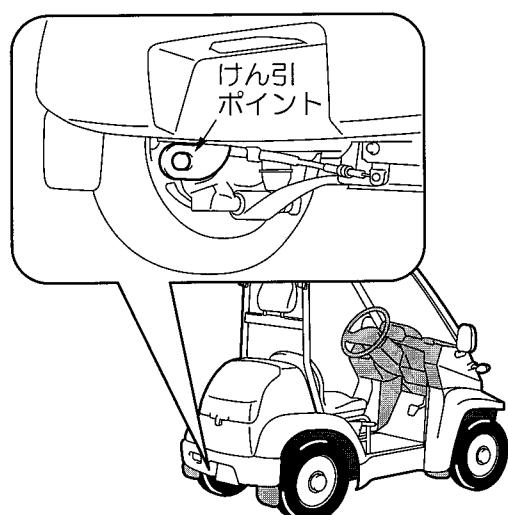


### チェックポイント

キースイッチが「ON」のままけん引すると、バッテリーに負荷がかかり破損する事があります。

### 注意

キーを抜くとハンドルがロック状態となる為、ハンドル操作が出来なくなり非常に危険です。



- ③シフトスイッチを「N（ニュートラル）」の位置にし、パーキングブレーキを解除します。

- ④けん引ロープをたるませない様にして、前の車のブレーキランプに注意しながらブレーキ操作、ハンドル操作をしてください。

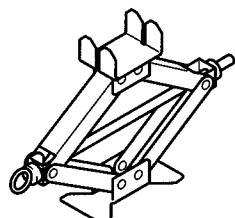
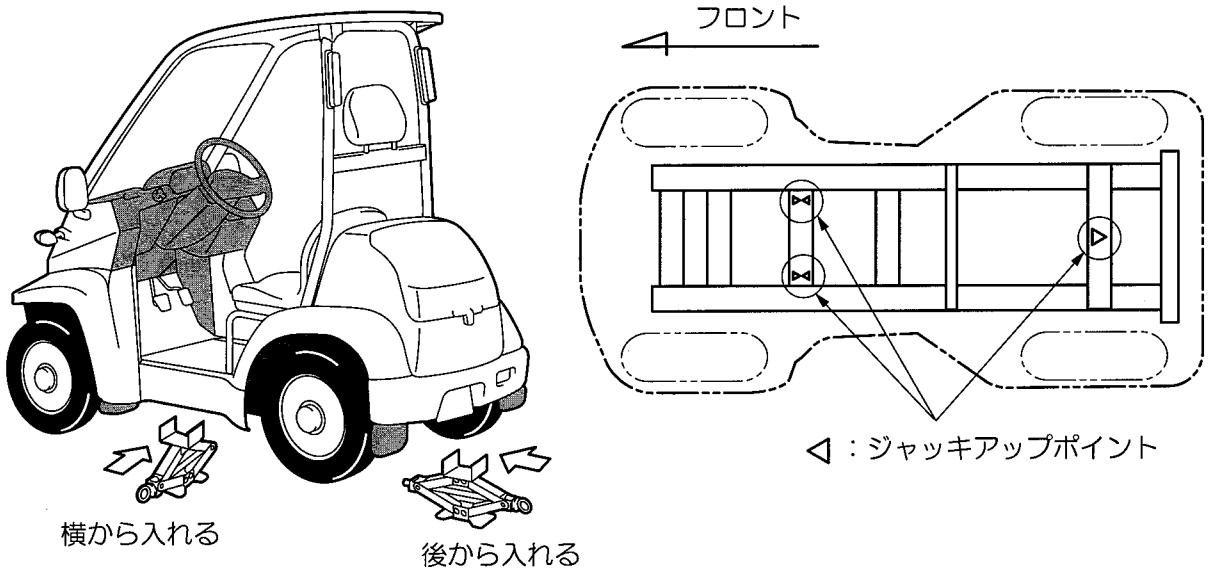
### 注意

安全のため、けん引速度は30km/h以下で走行してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

### (3) ジャッキアップ

パンク等の理由でタイヤを脱着する時は、

- ・下図のパンタグラフ式のジャッキを使用してください。
- ・下図のジャッキアップポイント（△印）に設置して作業をしてください。



#### ▲注意

安全に作業するために、次の内容を守ってください。怪我をする恐れがあります。

- ・タイヤは、一輪づつ脱着してください。更に対角のタイヤには輪止めを行なってください。
- ・作業は、ジャッキが外れたり倒れたりしないように、平坦で安全な場所で行なってください。

× モ

## 製品についてのご相談、ご要望は…

本製品やアフターサービスなどについてのご相談、ご要望がありましたら、次の事項を必ずご確認のうえ、購入店または代理店にご相談ください。  
修理や改造等が必要な場合にも、ご相談ください。

製品名およびフレーム番号

ご購入年月日

ご相談内容

お客様のご住所、お名前、電話番号

購入店印

代理店印

# トヨタ車体 豊田

商品に関するお問い合わせ・資料請求は、お客様専用フリーダイヤルまで

受付時間 月曜日～金曜日  
9:00～12:00／13:00～17:00

0120-173048